

第70回 (2019年度) 定時株主総会

2020年6月25日
東洋合成工業株式会社



招集ご通知 25ページ～

2019年度

(2019年4月1日～2020年3月31日)

事業の経過及びその成果

- 世界経済 : 米中・日韓貿易摩擦、コロナ拡大、消費の縮小。
- 日本経済 : 台風、消費増税により景気減退、コロナ拡大。

- 電子材料市場 : 先端半導体を中心に需要拡大。
メモリ・ディスプレイは調整局面。
- 香料市場 : 世界需要は堅調。

事業の成果

感光材

先端半導体向け
需要好調

感光材

ディスプレイ向け
需要横ばい

高純度溶剤

電子材料向け
需要横ばい
高付加価値化

香料

トイレタリー製品
好調

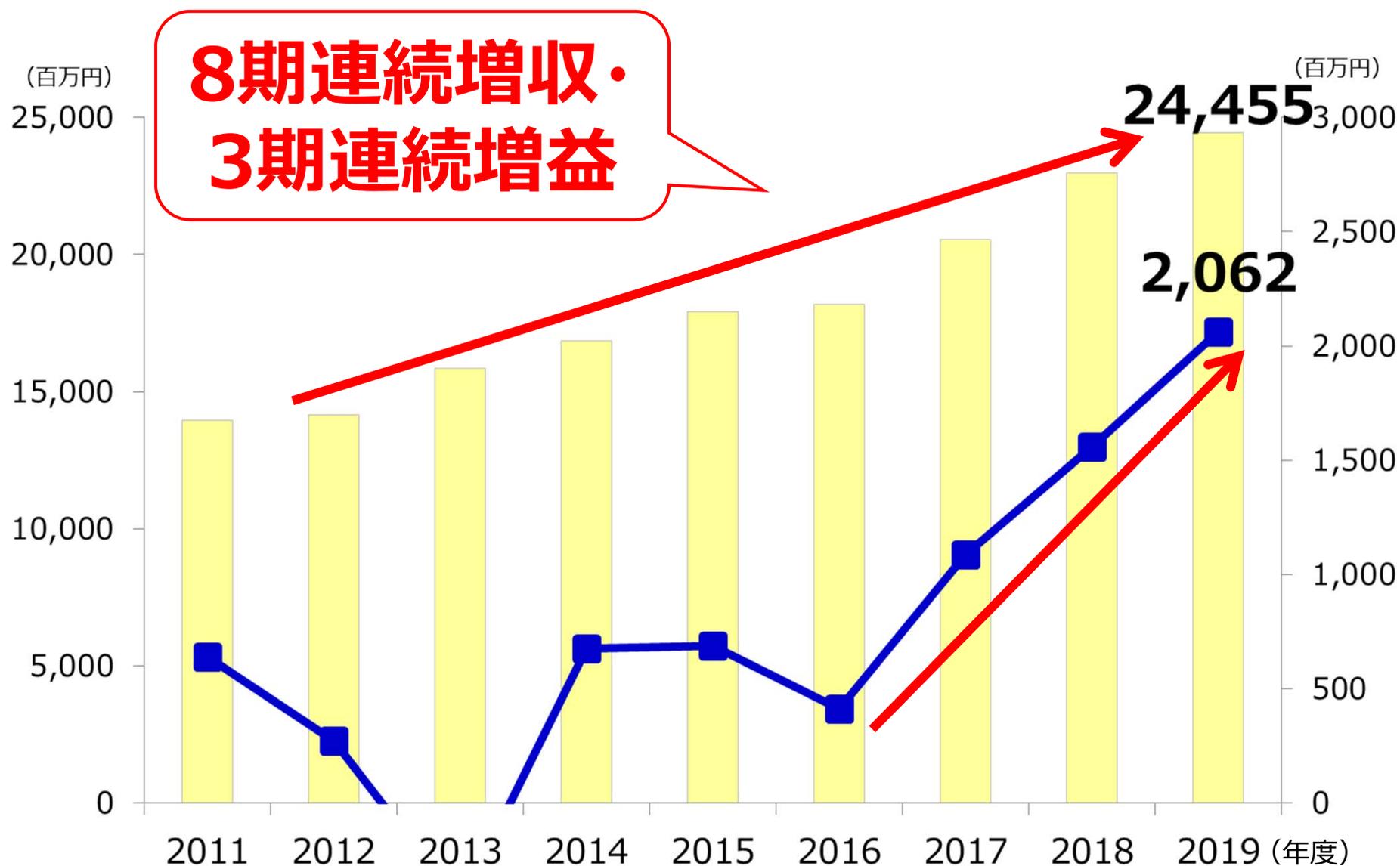
2019年度の損益 招集ご通知 25、28、46ページ

- 売上高、利益面、全てで過去最高を更新。
- 高付加価値製品拡販により、売上総利益が拡大。

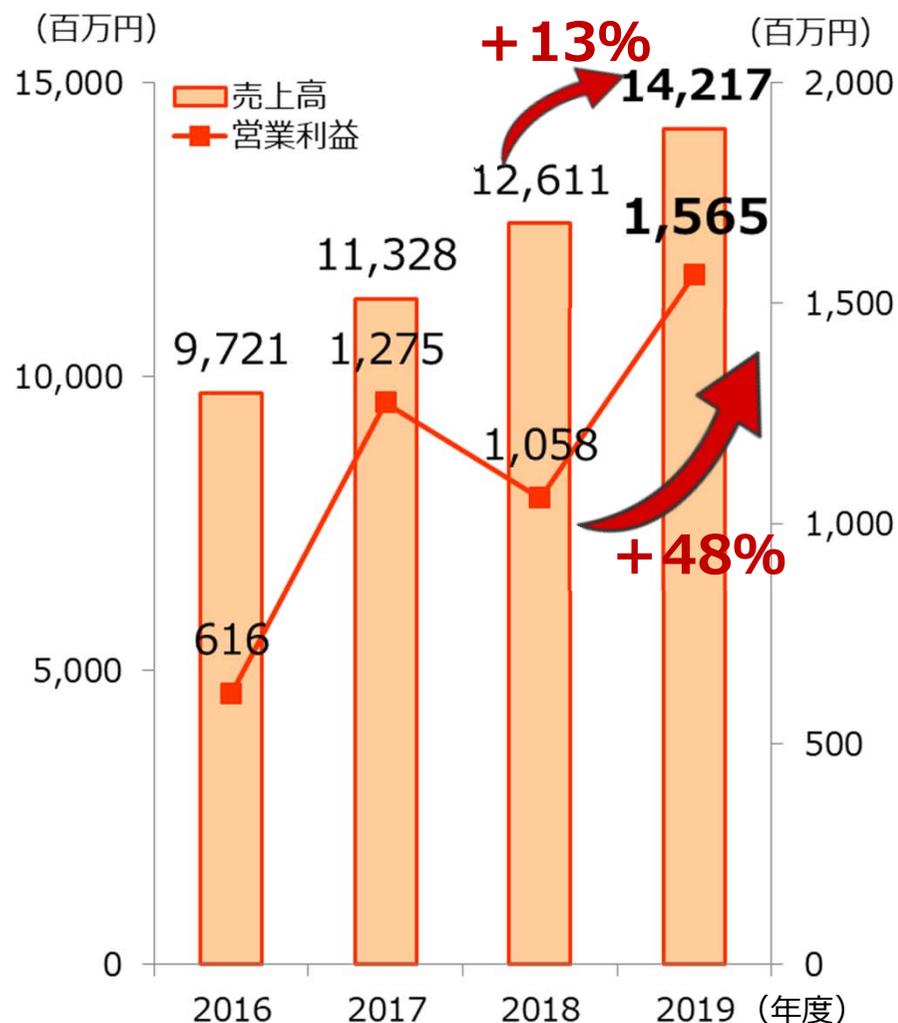
(百万円)	2018年度	2019年度	増減額	前年比 増減率
売上高	22,975	24,455	+1,480	+6%
売上総利益	4,536	5,262	+726	+16%
営業利益	1,559	2,184	+624	+40%
経常利益	1,567	2,061	+494	+31%
当期純利益	1,171	1,852	+681	+58%

売上高・経常利益の推移

招集ご通知25、28ページ



売上高・営業利益



売上高：14,217百万円

(前年比+1,605百万円、+12.7%)

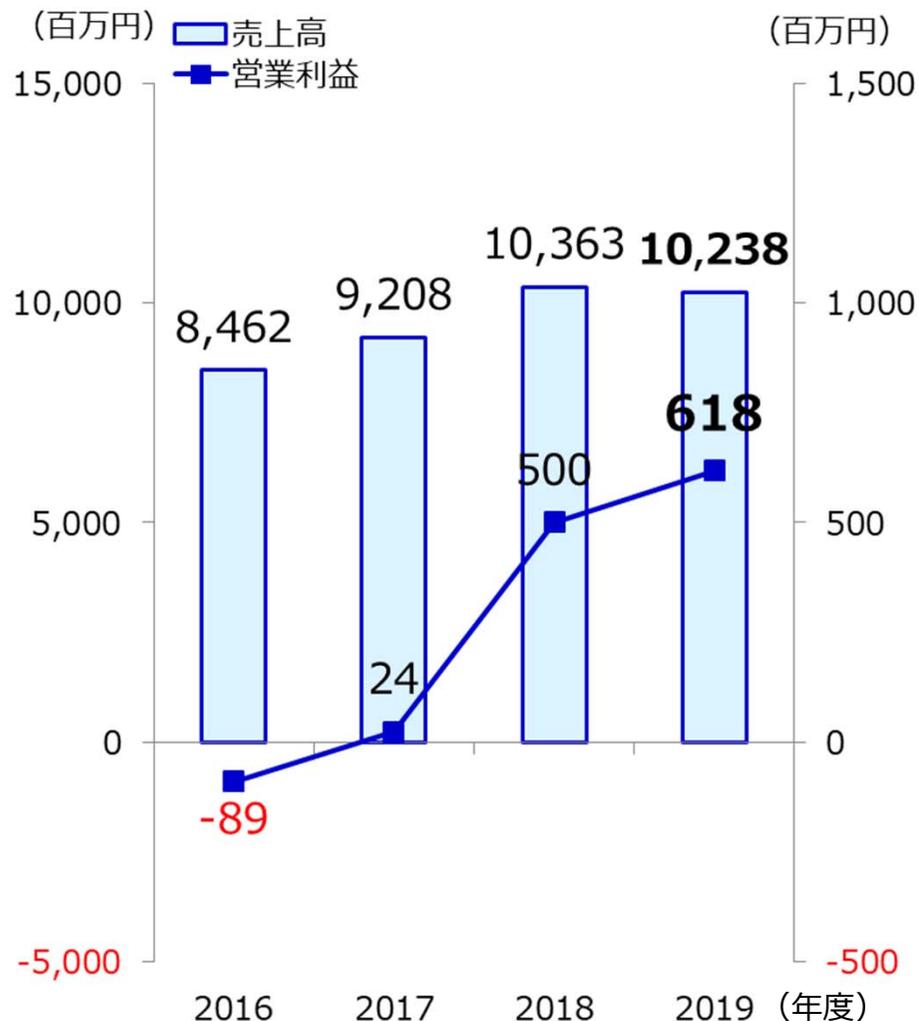
- 先端半導体(EUV、ArF)向け感光材が好調に推移。
- FPD向け感光材も前期比微増。

営業利益：1,565百万円

(前年比+507百万円、+47.9%)

- 設備増強に伴い、労務費、減価償却費が増加(+450百万円)したものの、高付加価値品の販売増により増益。

売上高・営業利益



売上高：10,238百万円

(前年比△125百万円、△1.2%)

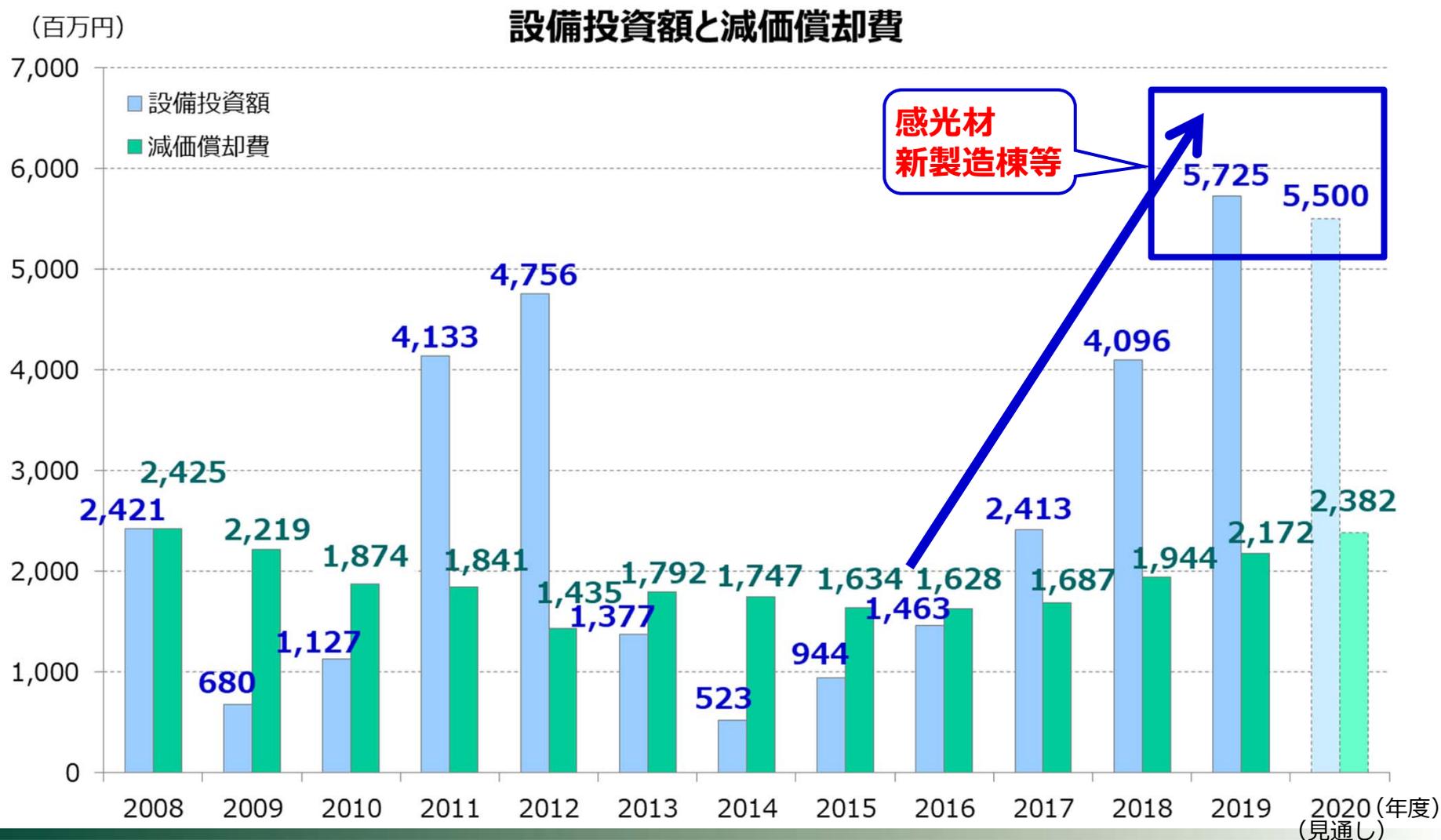
- 先端半導体向け高純度溶剤、香料製品が好調に推移したものの、メモリ向けなど汎用的な電子材料向け溶剤は調整局面となり、全体としては減少。
- ロジスティック事業（ケミカルタンクターミナル事業）は高稼働持続。

営業利益：618百万円

(前年比+117百万円、+23.4%)

- 高付加価値製品へのシフト加速。

- 生産能力増強により、設備投資額が増加。



貸借対照表

招集ご通知28、45ページ

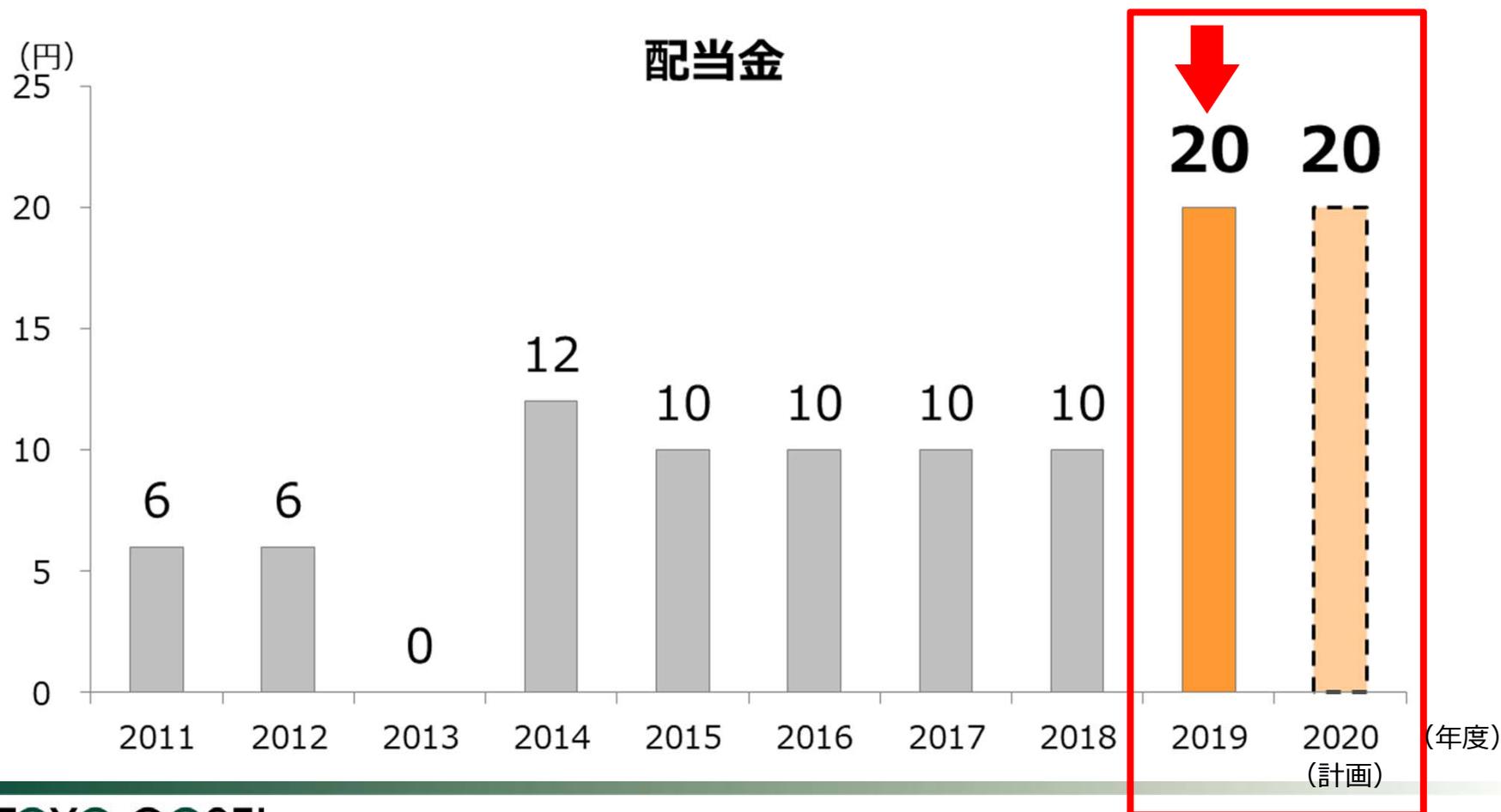
(百万円)	2018年度末	2019年度末	増減額
流動資産	17,228	15,503	△1,725
現金預金	5,412	3,582	△1,829
売上債権	4,314	4,654	339
棚卸資産	6,822	7,019	197
その他	679	246	△433
固定資産	19,637	23,627	3,990
有形固定資産	18,566	22,112	3,546
無形固定資産	417	407	△10
投資・その他	653	1,107	453
資産合計	36,865	39,130	2,264
負債	28,024	28,561	536
仕入債務	3,094	3,000	△94
有利子負債	17,984	18,188	203
その他	6,945	7,372	426
純資産	8,841	10,569	1,728
株主資本	8,830	10,563	1,733
負債・純資産合計	36,865	39,130	2,264

設備投資により現金が減少

感光材の新規設備により、有形固定資産が増加

利益が増加

- 株主還元・成長投資・財務体質改善を総合的に勘案し決定。
- 2019年度は1株当たり年間20円、2020年度も20円を維持



株価

- 当社株価は、日経平均 -12%下落のなか、
1,604円→4,330円へと2.7倍上昇（2019.4~2020.3）。



招集ご通知 26-27、39-40ページ

対処すべき課題と

中期経営計画「TGC300」の進捗

- **コロナ感染拡大リスクに際して、安全を最優先し、全社の総力をあげて事業への影響を最小限に留めてまいります。**
- **感光材事業：需要拡大に対応した生産能力の増強**
- **化成品事業：高品質な製品の積極的な拡販と生産性向上**
- **連続的成長を支える競争力強化**
 - 人材育成：現場力・技術力の向上
 - 設備生産性向上：設備投資効果の最大化
 - 資金生産性向上：運転資金の効率化

新型コロナウイルス感染症対策

招集ご通知
26ページ補足

- 2月27日に新型コロナウイルス対策本部を設置し、対策を実施中。
- 6月24日時点で当社社員に感染者は発生しておりません。

① 就業における感染予防策

- ✓ 全事業所で就業状態に応じた時差出勤、車通勤、及びテレワークを実施。
- ✓ 特に本社（東京）、西日本営業所（大阪）は原則テレワーク。

② 出張・訪問・会議等について

- ✓ 社外・他事業所への出張を原則禁止。
- ✓ WEB 会議、TV 会議、電話会議などを活用し、感染リスクを低減。
- ✓ 社外の方々にもご訪問を極力お控え頂いています。

③ 勤務時間中の感染防止策

- ✓ 風邪の兆候がある社員は自宅待機。
- ✓ マスク着用、手洗い、アルコールによる手指消毒、うがい等を義務付け。
- ✓ サプライヤー、協力会社、工事業者の方々にも同様の協力を頂いています。

皆さまのご理解ご協力に心より御礼申し上げます。

引き続き社員の健康、安全確保を図りつつ、工場の操業、製品供給を継続して参ります。

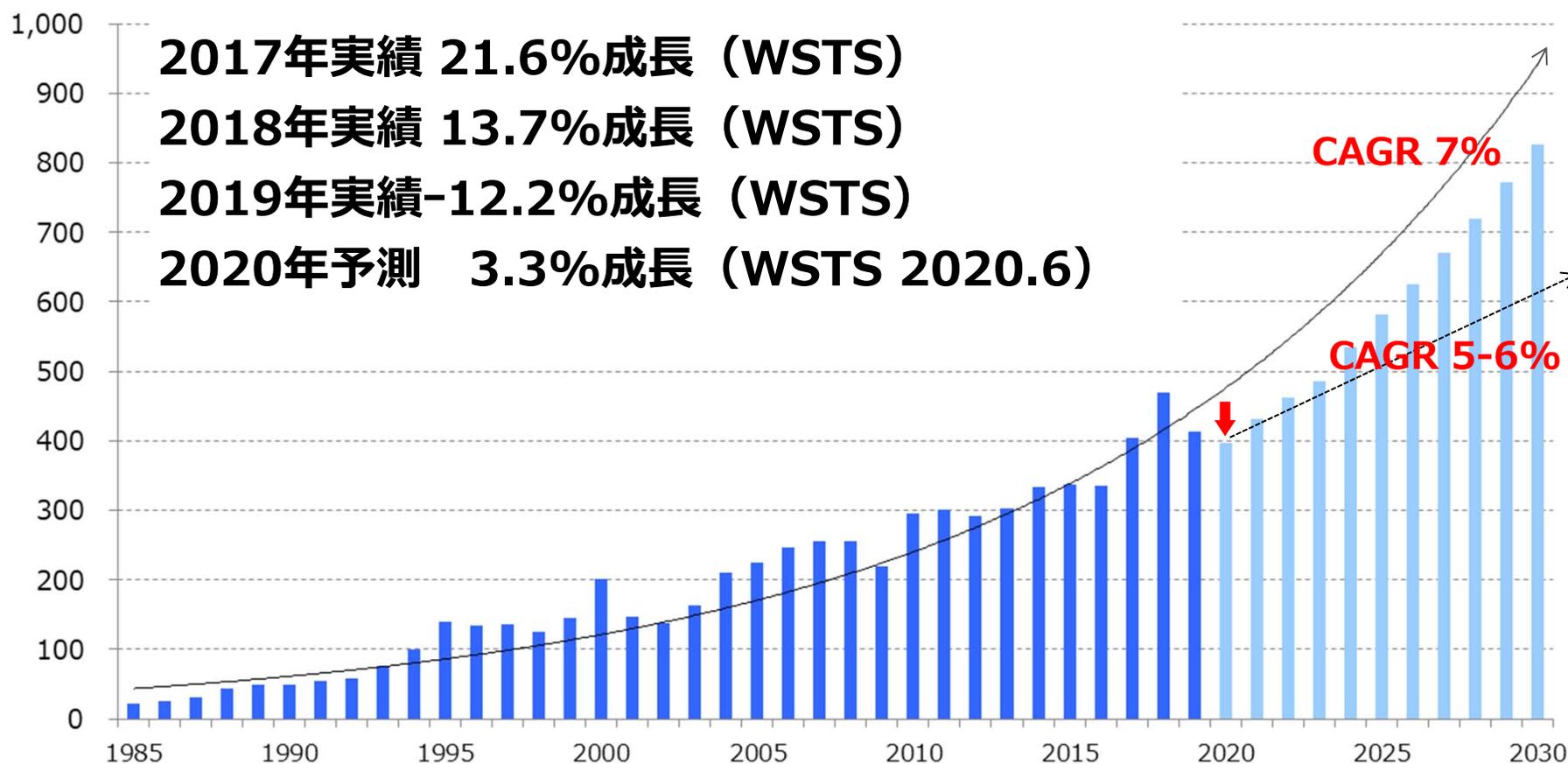
半導体市場の推移と長期予測

招集ご通知
27ページ補足

- 社会全体の情報化の加速により、2020年→2030年は1.5～2倍の成長が見込まれる。

世界半導体売上高

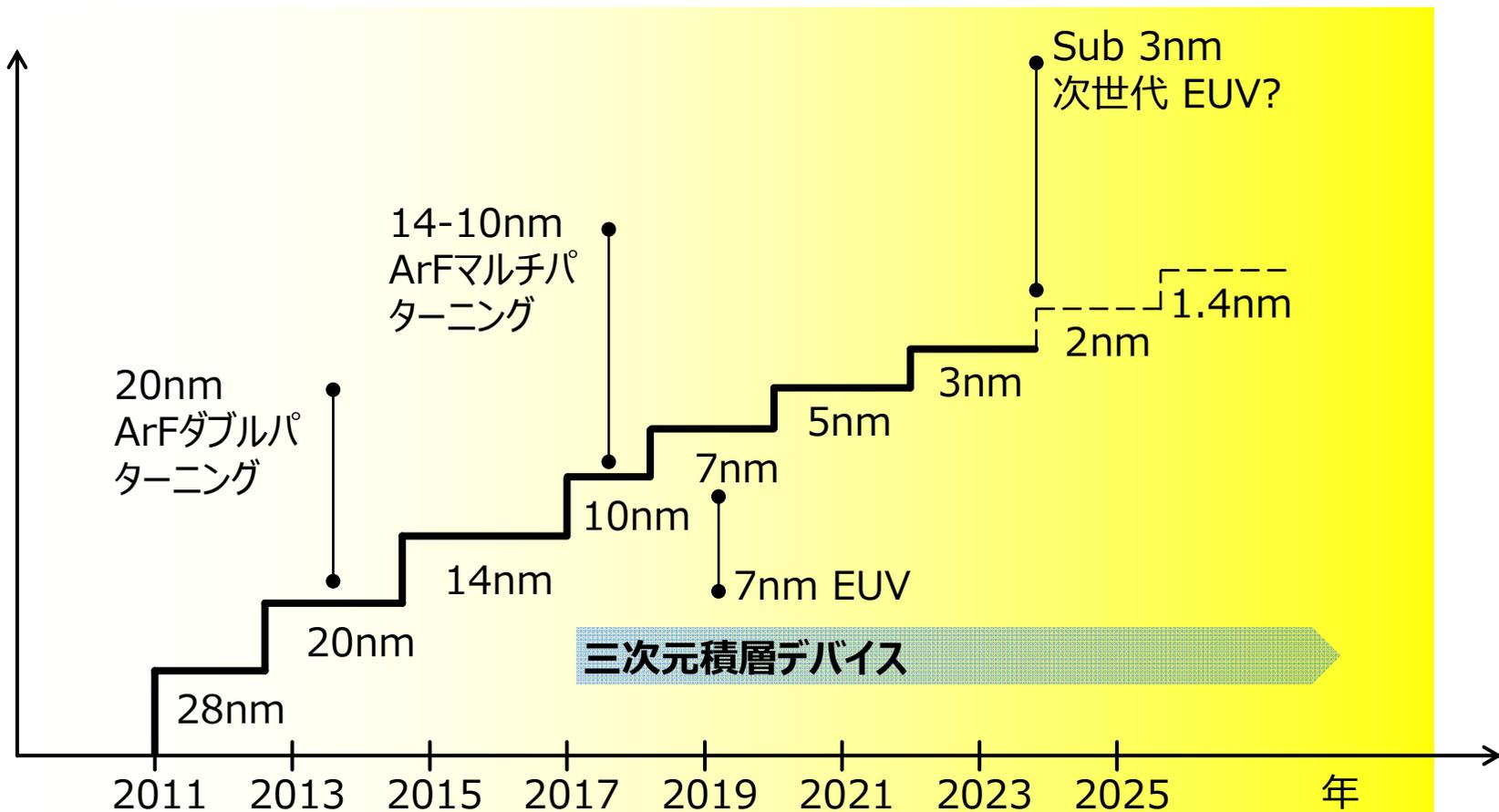
(Billion USD)



出所：WSTS、富士キメラ総研より当社作成 (予測)

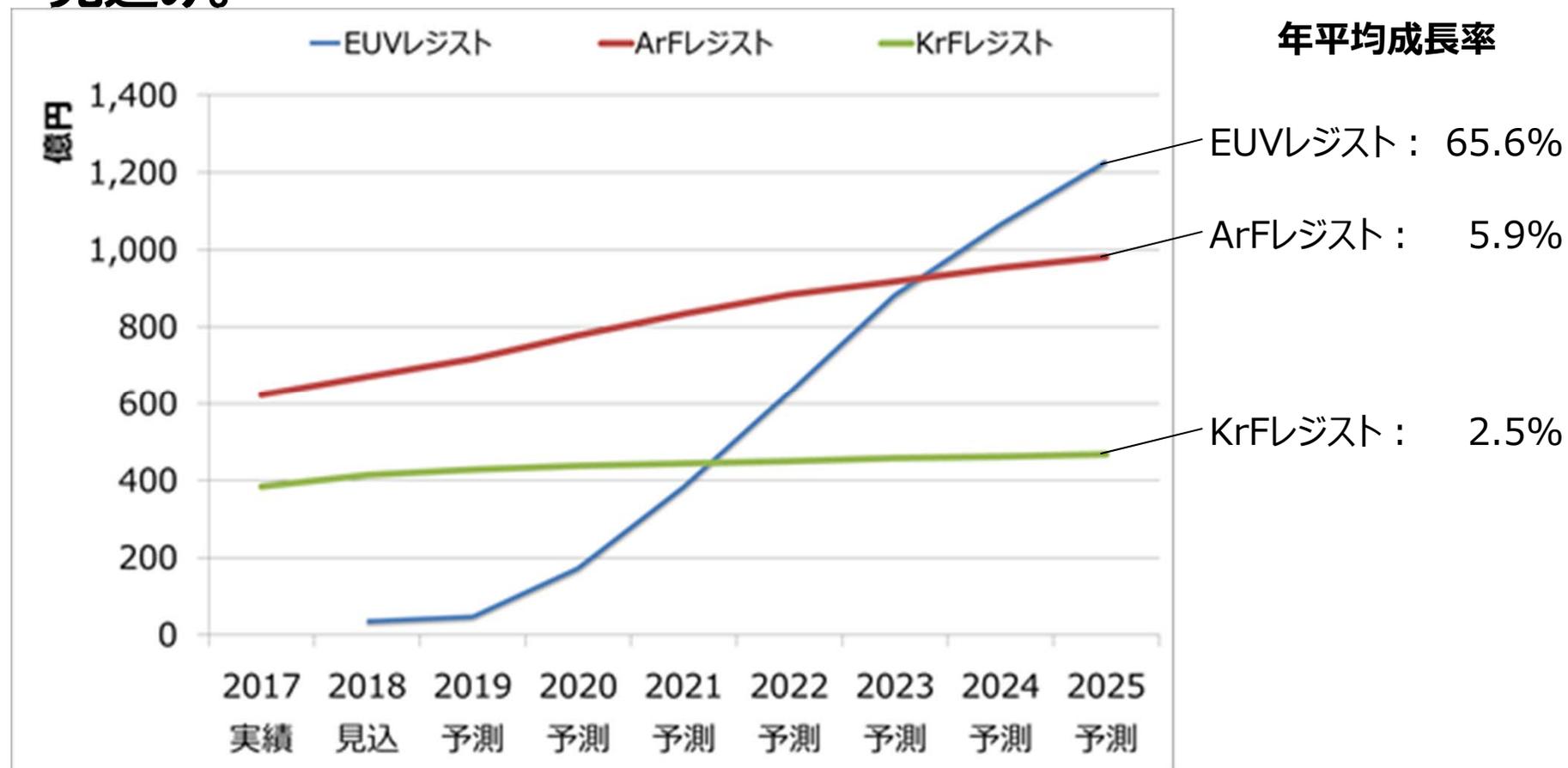
配線の微細化

- 半導体の線幅の微細化は継続、現時点では5nmまで量産化。
- 今後2025年に向けて、2nmまで微細化。
- 超高純度の溶剤や感光材のニーズが拡大。



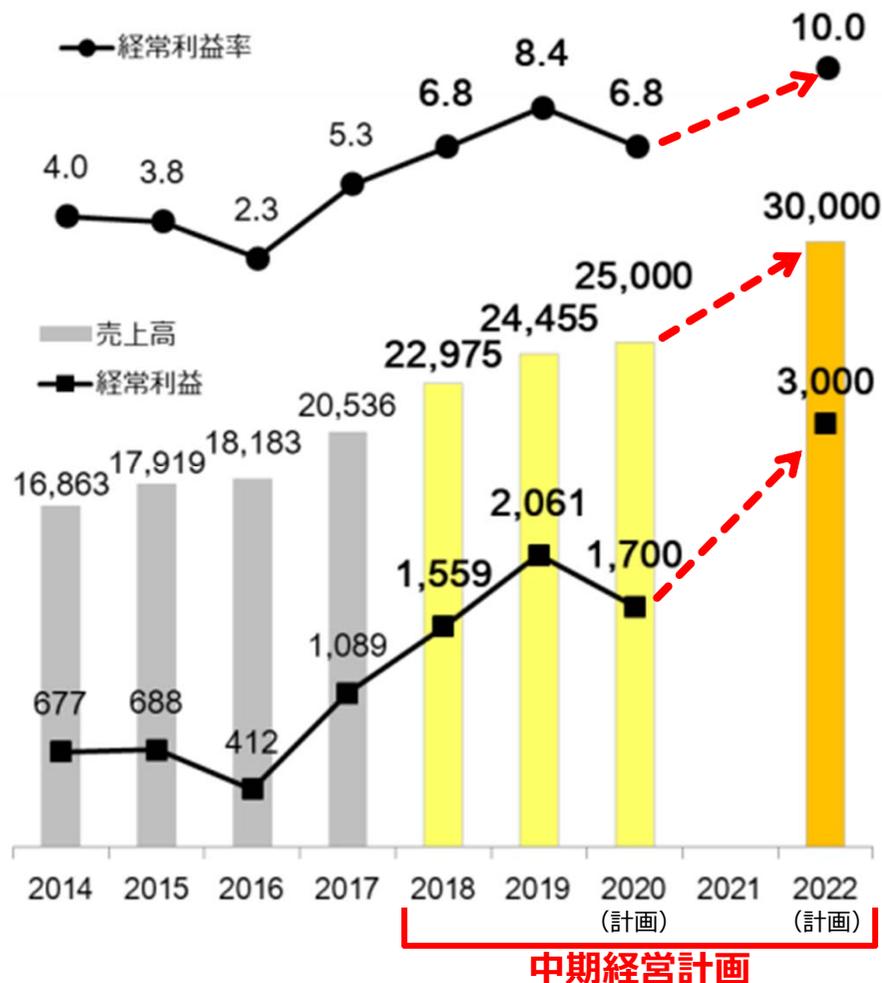
フォトレジスト市場の予測

- EUVレジストは、2019年に量産開始。
- 2021年は前年比2倍、2022年は1.5倍、2023年は1.2倍と拡大見込み。



出所：(株)富士キメラ総研「A（オングストローム）半導体プロセス材料／技術の展望調査（2018年7月）」より当社作成

●「TGC300」の達成に向けて、計画通り順調に進捗。



- 中期経営計画2年目は社内計画値を超過
(業績予想比 売上高△4%、経常利益+21%)
(中計計画比 売上高△6%、経常利益+19%)
- 供給拡大に向けて、設備増強も計画通り進行中。
 - ✓ 既存設備の能力増強→完了
 - ✓ 新製造棟→2020年9月末完成予定
- 中期経営計画の達成に向け、引き続き全社一丸となり取り組んで参ります。

新製造棟（第4感光材工場） 工事進捗



【工事進捗状況】

2020年6月12日現在

【完成予想図】



ESG (環境・社会・ガバナンス) とSDGs (持続可能な開発目標)

- 社会や企業の持続的成長のために必要



- 日本政府のSDGsアクションプラン

1. ビジネスとイノベーション、SDGsと連動する「Society 5.0」の推進
2. 地方創生
3. 次世代・女性のエンパワーメント

ダイバーシティ推進

- 当社の平澤取締役が、日本経済新聞の記事に取り上げられました。
- より良きコーポレートガバナンス、ダイバーシティ推進、働きやすい環境作りに取り組んでまいります。

帰国後に勤めた半導体薬液の企業が後に米化学大手の傘下に入り、世界の女性活躍を目的とした。

マーケティング部門の管理職だったが、子育てで会食に出席できないこともあった。「女性は営業やマーケティングで十分に仕事ができないのでは」とストレスを抱えることもあった。

13年に東洋合成に入社。会食はランチを設定し、部下が気兼ねなく帰れるよう気を配る。17年からはダイバーシティ推進の担当役員も務める。最近、中国の取引先で女性の工場長から「日本の女性役員は初めて」と声を掛けられた。「女性だからという常識を一つ一つ覆し、次の世代が100%でも歩きやすくなれば」と期待している。(西岡杏)

社運をかけた120億円の工場投資プロジェクトの最前線に立つ。会社の売上高の半分を占める大型投資に取締役会では心配の声もあったが、工場長と組み「(次世代通信規格の)『5G』で半導体需要は絶対増えるはずですよ」と説得した。半導体製造に使う「感光材」事業は世界シェアトップ。化学業界の花形事業で100人規模の部下を率いる。横浜国立大の応用化学科を卒業後日本電気に入社、半導体関係の研究部に所属した。26歳で社内結婚した夫は黎明(れいめい)期の携帯電話の開発で忙しく、会社の食堂で夕食を共にするのが精いっぱいだった。

1年間の育児から復帰後はほぼワンオペ育児。当時は育児を取ると社内評価が

東洋合成工業取締役
感光材事業部長
平澤 聡美さん



夫の赴任バネに世界にもまれる

折れないキャリア

「0点」に戻る時代で「残業したい」と夫にも掛け合ったが夫も、後輩の男性社員に向かって話す取引先を前に悔しい思いをした。転職は32歳。夫の米国転勤で本意でない退職を決めた。米国で平澤さんにできそうな仕事があるよ。渡米直前に元上司に誘われ、日

本人が立ち上げた半導体ベンチャーでエンジニアとして働くことになった。同僚の中国人やインド人は博士号を持ち思考力と高い語学力を誇った。「技術は優れているのに、日本人はディベートが苦手」。通勤の車中でラジオのニュースを懸命にまね、社内では

死に議論すると、次第に受け入れられた。「やっぱり日本の技術はやっぱりいい」。同僚の声に自信を深め「日本人はもっと海外に出た方がいい」と感じた。欧州系の半導体メーカーに転職し、工場エンジニアとして国際標準化機構(ISO)の管理に携わった。

ひらさわ・さとみ 横浜国立大工学部卒業後、1988年日本電気(現NEC)入社。米ベンチャーや米デュポンを経て、17年から現職。54歳。

地元への支援～鹿島アントラーズを支援

- 千葉県東庄町は、鹿島アントラーズのフレンドリータウンとなっています。
- 当社は、地元地域活性化の一助として、今年度より鹿島アントラーズビジネスクラブに参加しました。今後、地域に根差した連携を高めてまいります。



地元への支援～台風災害への見舞金贈呈

- 千葉県で発生した台風19号の災害に対して、2019年11月6日に御見舞金を贈呈しました。



地元へのコロナウイルス対策協力

招集ご通知
26ページ補足

- 当社工場の立地する自治体（千葉県市川市、東庄町、兵庫県淡路市）へ、消毒液を寄付。今後も、地域に貢献する活動を行ってまいります。



左上) 千葉県市川市消防局へ消毒用エタノール製剤90Lを寄付。

右上) 千葉県東庄町へ消毒用エタノール製剤75L、次亜塩素酸ナトリウム水溶液180Lを寄付。

左下) 兵庫県淡路市へ消毒用エタノール製剤90Lを寄付。

今後に向けて

創業来、世の中のニーズに対し、技術を通して真摯に取り組み、独創的な高純度化技術・合成技術・製造技術を開発し、現在に至りました。

あらゆる電子機器が高速通信でつながり、データはリアルタイムに処理され、さらにAI化が企図される昨今、電子材料需要は高度化/多品種化しつつ急拡大し、お客様から多くのご要望を頂いております。

このような社会変革に貢献すべく、安全を最優先しつつ、中期経営計画「TGC300」の目標の実現に向けて進んでまいります。

ご支援いただいている、株主をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待に、社員一丸となって企業価値向上を通して未来の実現を目指してまいります。

何卒、引き続きのご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。